

編輯室の内外

昭和七年が來た。本誌も茲に十四の春を迎へる。積極政策を採る政友會内閣の下で新春を迎へてゐると、これでこそ神の御末ぞ今朝の春。と言ひたいやうな氣持になる。

失業救済と言ふやうな厭な名を附けずとも、積極的に土木事業を起せば、失業者は無くなる。イラ／＼した世想も吹き飛ばすことが出来る。之でこそ天下は泰平だ。此位賃えておくから追加豫算は吾々の希望する通りに編制して貰ひたい。萬一にも夫れを裏切るやうな事があつたら、此度こそは既成政黨の破壊運動に取かゝることを豫告しておく。

併し議會は解散されるらしい。爲に豫算が成立しないのは當然だが、政治の常道行

編輯室の内外

爲まで犠牲にして、豫算の成立を希望する。沒當漢ではない。其のときは解散後の議會に前言を要求する。

一記者が執筆してゐる「地方廳を訪れて」も本號に登載する筈であつたが、此度の地方長官の交迭で書き改めなければならぬ事になつた。従つて休載するから御諒承を願ひたい。交迭のことなら年末に差迫つての交迭は實際お氣の毒だ、夫れに前内閣時代に任命された知事だ、彼は民政黨に秋波を送つたとか、何とか難癖を附けて誠首したり沈めたりするのだから、官吏もたまつたものでは無い。此弊害を芟除する爲に官吏聯盟でも設けて、人事行政の改革を行ふでは無いか。夫れが出来なければせめて地方長官の公選を速行するやうに運動しやうではないか、之が昭和七年の官界に解決を求むる重大問題であらう。

幹事の三浦七郎君が工學博士の學位を得た。我國で橋梁工學に關し學位を得た者は極めて尠い。内閣の交迭で路政益進展せむとすると、橋梁に關する一權威者を得たことは寔に喜ぶべきことだ。序に内務省の田中事務官が囁し立てゝゐる關門國道の橋梁工事も、此際起工して三浦博士の智慧を拜借したらどんなものか。

本誌定價 五十錢
一ヶ年分 金六圓

東京市麴町區大手町一丁目内務省内
發行所 社團 道路改良會
東京府豊多摩郡代々幡町幡ヶ谷三五六
發行兼 編輯者 小島 效
東京市小石川區諏訪町五六
印刷所 常磐印刷所
印刷者 堀江關武